



最上川と酒田港の歴史を学ぶ

「最上川 200 キロを歩く 小学校探検リレー2015」

※文中の写真は、解像度を下げる等、個人を識別できないように加工しております。

最上川の源流から河口までを小学生達がリレーでつなぐ「最上川 200 キロを歩く 小学校探検リレー2015」が、7月18日（土）に最終日を迎えました。アンカーを務めた酒田市立松山小学校の3～6年生の児童ら17名は、最上川沿いの各施設で河川について学習しながら元気に歩き、最上川河口付近（酒田市宮野浦家岸）へ無事到達、ゴールへ飛び込みました。

酒田港湾事務所では、酒田港の成り立ちが最上川と関わりがあることや、港の機能・役割・魅力を伝えるため、港内見学会を実施しています。今年は港内見学の前にスライドを使って、酒田港は最上川の河口港から発展していった港であり、そこから河川と港を分離する「背割堤」の整備や、防波堤の建設と北港地区の掘り込みを経て近代的な港湾へと発展していったことや、食料品や燃料の輸入など日々の生活が海上輸送により支えられていることなどを説明しました。

説明後は、酒田港湾事務所の港湾業務艇「みずほ」に乗船し、実際に海から酒田港を見学。少し雨粒が落ちてきていたものの波は穏やかで、元気に景色を眺めていました。また展望台では眼下に小さく見えている波消しブロックが、ブロックヤードに入って間近で見ると高さ4m以上の大きな物であることにとっても驚いていました。



酒田港と最上川の関わりを学ぶ



海上から眺める施設



展望台で学ぶ酒田港



50tの波消しブロックを間近で見学

酒田港湾事務所では、皆さんに港の機能・役割・魅力を幅広く知っていただくため、港内見学会を実施しています。船を使った港内見学会のほか、陸上での見学会や出前講座なども実施することが可能です。小学校の総合学習などにも協力したいと考えておりますので、港の学習を検討されている団体がございましたら、企画調整課（電話33-6314）にご相談ください。



国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所
〒998-0061 山形県酒田市光ヶ丘5丁目20番17号
TEL : 0234-33-6311 (代表)
URL : <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/sakata/>